

国立大学法人 九州工業大学

第23回 歯工学連携講演会

ダメ学生が研究者を目指して： 発育鶏卵を用いた次世代型動物 実験法の開発と制癌剤の創薬研究

宇都義浩 准教授

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部
ライフシステム部門&フロンティア研究センター



日 時：2013年7月11日(木) 10:30-12:00

場 所：九州工業大学戸畑キャンパス
総合研究棟S-2A

発育鶏卵とは、従来の実験動物であるラットやマウスと比較して、安価で、飼育が容易であり、個体差が小さく、アレルギー性が低く、特別な実験施設が不要といった多くの利点を有する次世代の実験動物です。私は、創薬研究における細胞実験の限界を認識し、この発育鶏卵を用いてユニークな制癌剤の創薬開発に取り組んでいます。本講義では、この14年間で開発に取り組んできた放射線増感剤/防護剤、抗転移剤、血管新生阻害剤、抗酸化剤、免疫賦活剤について概説します。また、学部時代の成績は散々だった私が、どのようにして研究者への道を進んできたか実体験をもとに解説し、これから大学での学問を始める学生の皆さんの可能性について議論したいと思います。

問い合わせ先：竹中（093-884-3322）